

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成28年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～3月)

施設名	五日市センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	平成25年4月1日から 平成30年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	244	269	110.2%	
	延べ利用者数 (人)	2,994	2,623	87.6%	
	自主事業	実施回数 (回)	11	276	2,509.1%
		利用者数 (人)	152	2,362	1,553.9%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	13,927,000	13,927,000	100.0%
		利用料金収入 (円)	2,544,900	2,295,900	90.2%
		自主事業収入 (円)	3,888,000	2,327,928	59.9%
	収入計 (円)		20,359,900	18,550,828	91.1%
	支出	人件費 (円)	9,500,000	10,210,434	107.5%
		維持管理経費 (円)	6,286,000	5,243,741	83.4%
		自主事業関係経費 (円)	13,206,640	2,224,704	16.8%
		その他の支出 (円)	0	0	0.0%
	支出計 (円)		28,992,640	17,678,879	61.0%
	収支 (収入－支出) (円)		△8,632,740	871,949	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数は、予定どおり開館しているが、通所事業については、利用者数の減少が見られるため、今後も広報活動を積極的に継続していく。	【事業の実施状況について】 通所事業は、利用者のニーズに合ったサービスの向上に力を入れ、事業の展開に努めた。自主事業は、介護学院など、五日市センターの特色を活かした企画を行った。	【収支状況について】 通所事業については、昨年度と同様の状況である。自主事業に関しての経費や人件費は収支バランスを考え、計画をたてていく。
---	---	---

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 計画より多く開館し、自主事業の利用者数は昨年度より増加しているが、通所事業は減少しているため、今後も引き続き啓発・広報活動を行う必要がある。	【事業の実施状況について】 利用者のニーズに合った通所事業が展開できている。自主事業も五日市センターの設備や特色を活かした事業が実施されており評価できる。	【収支状況について】 通所事業の収支はおおむね良好であるが、今後も引き続き、自主事業の収支の改善を図る取組を実施する必要がある。
--	---	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

施設・設備の維持管理	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人 人員配置計画、実地、出勤簿	8人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年 研修マニュアル	実施回数12回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
通所事業においては、要介護状態になり介護サービスへ移行する人がいたため、利用者の減少が見受けられました。センターを知っていただくため、広報活動に力を入れ、利用者に寄り添う気持ちを大事に、自立生活の援助を行う場として努めました。自主事業についても、広報掲載の効果もあり利用者数が向上しています。また、介護学院の初任者研修では、東京都が実施している介護職員初任者研修資格取得支援事業の受託により、昨年度より受講者数が増え、就労支援も行うことが出来ました。
市による所見（指摘事項など）
通所事業については、昨年度より利用者の減少が見られるため、センターの周知を図り、新規の利用者を確保するとともに、利用者のニーズに合った事業を展開してください。自主事業利用者については、昨年度より増加傾向であるため、今後も積極的な啓発・広報活動を行うとともに、設備や立地を生かした活動が実施できるよう取組を進めてください。また、介護職員初任者研修を実施し介護職確保のための取組を継続的に実施してください。今後も収支バランスの適正化に努め、事業を展開してください。